

議会だより ひらゝずみ

第166号

令和2年2月1日
定例会12月会議



- 主な内容
- 行政区長との情報交流会
- どうする? どうなる? 今後の平泉町…2
- 定例会12月会議
- 図書館・公民館整備事業契約締結…4
- 一般質問
- ここが聞きたい
- 9議員が町政を問う…8

暮らしの安泰と 五穀豊穡を願って

7区「注連縄有志の会」は10人で揃っています。その注連縄は町内の神社仏閣に奉納されて37年になりました。

私もひらゝずみ



平泉字片岡
小野寺恒彦さん

町長と若者のタウンミーティングの機会を!

- 今活動していることは
父の背中を見て消防団に入団して15年になりました。日々の訓練の中で初期消火の重要性やチーム力の大切なこと等、先輩方から学ぶことが出来ます。地域社会に役立っていることや一人で出来ないことが多くあり、皆さんに支えられていると思っています。
- 気になっていることは
森林の維持管理です。
- 町や議会に望むことは
企業誘致・スマートインターを進めるにあたって、計画を道路利用者にも現地説明をしてほしいです。
- 公式試合の出来る体育館の考えはどうなったのでしょうか。町の事業計画を実施する時は若者の意見を聞いてほしいです。そこで町長・町議会とタウンミーティングの機会を望みます。

近くの山々を見ると枯れ木や草が放置されています。保全の維持管理に業者を入れて管理するよう出来ないのでしょうか。
●町民主体で総参加出来るイベント(例・江刺祭)をすることで祭りが盛大になると思います。また内容がマンネリ化しているので工夫があってもいいかと気になってます。



新年ご挨拶

迎春 皆様の御安泰をお祈り申し上げ、今年も昨年同様よろしくお願ひ致します。
近年は少子高齢化が急速に進み多様な暮らしになっています。町民の皆様にとつて、幸せな年になりますよう願っています。



平泉町議会
議長 佐藤 孝悟
副議長 寺崎 敏子
議員 千葉 勝男
佐々木 雄一
佐々木 一治
升沢 博子
高橋 伸二
真竈 光幸
三枚山 光裕
阿部 圭二
高橋 拓生
氷室 裕史

表紙の紹介

7区老人クラブが地元にある毛越寺へ注連縄を奉納したのが始まりでした。今は区長を中心にして有志が集まり10人で揃い上げています。今年は特に富岡八幡宮の献上米の稲藁をつかい、新年を迎える伝統を継承して繁栄と五穀豊穡を願っています。



あとがき

令和に改元されて初めて迎えた正月も、もう節分の季節になりました。さて、私たち議会広報編集スタッフは、議会だよりが町民の皆様と議会をつなぐ媒体としてなるべく分かりやすく、議会の役割についても伝えてきたつもりですが、伝

わっていたでしょうか。「私もひとこと」欄も町民の皆様の貴重なご意見をたくさんいただき、感謝しています。今年もよろしくお願ひいたします。

編集スタッフ

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 升沢 博子 |
| 副委員長 | 氷室 裕史 |
| 委員 | 阿部 圭二 |
| 委員 | 寺崎 敏子 |

議会だよりは再生紙を使用しています

町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

どうする？ どうなる？ 今後の平泉町

ご意見
ご要望

- ため池、堤などの整備を
- 景観条例の見直し（緩和）を
- 新社会教育施設を誰でも使える施設に（バリアフリー）
- 民生委員やスクールガード等の特別職にも労力に見合う対価を



開かれた議会、信頼される議会を目指して区長会との連携を密にし、情報交流を行い、平泉町の発展に寄与することを目的に、区長会との情報交流会を行いました。

議員のなり手不足への対応は

Q なり手不足が深刻である。定数、報酬を上げて良いのではないかと

A 県内でも実際に議員報酬を上げた自治体はある。また女性議員の不足問題も同様に考えていかなければならない。

人口減少問題への対策は

Q 人口減少問題と空き家問題をどう考えるか

A 就労の場を企業誘致によって確保し対応していく。空き家問題もそれに付随する形で解決したい。



農業問題への対策は

Q 世界農業遺産登録の実現可能性と諸問題への対策は

A 世界農業遺産は、一度落選した経緯がある。アプローチ方法を変えて再チャレンジしている。また、将来的な農業の担い手不足も深刻な問題と考えている。

スマートインターチェンジ 駐車場の活用は

Q 1100台分の駐車場をどう扱っていくか

A 本来は東北自動車道の渋滞緩和（防止）のためのものである。何らかの施設の駐車場として活用できれば。



情報交流会では、さまざまなお意見をいただきました

定例会 12月会議

議定例会12月会議は5日から12日までの8日間の会期で開催しました。条例改正や社会教育施設の施設整備契約、指定管理者の指定など、重要な案件について慎重に審議し議決しました。
また、9名の議員が登壇し町政の課題について町の考えをたいただきました。

社会教育施設(図書館・公民館)整備事業契約締結 共同企業体が決定!

代表企業：(株)平野組(建設)
(株)久慈設計(設計) シダックス大新東ヒューマンサービス(株)(管理運営)

(仮称)社会教育施設整備 概要

公民館、図書館、子育て支援機能、多目的ホールを集約する施設です。建設・設置は町が、維持管理・運営は指定管理者へ「委託」され、平泉町で初めて実施する*DBO方式により建設されます。

◆事業費見込(H30～R6年度) 14億3,939万円
(財源：借金9億510万円うち交付税措置2億3,340万円
基金2億3,780万円、一般財源2億9,649万円)

- 設計・建設工事費 11億1,595万円
- アドバイザー委託料 2,387万円
- 発掘調査費 1,100万円
- 用地取得費 7,141万円
- 補償費 4,000万円
- 維持管理費(3年分) 1億6,940万円
- 土地リース料(5年分) 777万円



施設正面外観
(提案概要によるイメージ図)
詳しくは、町HPをご覧ください。



◆敷地面積 約5,318㎡
(JAいわて平泉 倉庫、隣接する駐車場に建設を予定)

◆施設完成予定 R4年3月、開館予定 R4年7月
※R7年度以降も維持管理料、土地リース代は継続してかかります。

社会教育施設に関する議決

- ◆(仮称)平泉町社会教育施設設置条例
- ◆平泉町公民館設置条例の全部改正
- ◆平泉町立図書館設置条例の全部改正
- ◆施設整備事業契約
 - ・契約金額 11億1,595万円
 - ・請負者 平泉町社会教育施設整備事業共同企業体 株式会社 平野組
- ◆指定管理者の指定
 - ・期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日
 - ・指定者 シダックス大新東ヒューマンサービス(株)

全員賛成
可決

条例整備・事業契約締結の質疑

新条例では町民は施設運営にどう関わるの？

問 改正前の条例では公民館運営審議会委員が町民の立場で運営に意見を述べることができたが、新しい公民館ではその役割を担うのはどこか。

答 教育次長 地方自治法の改正で、公民館運営審議会は置かなくてもよいことになり、社会教育委員会が担っている。新しい施設は社会教育委員会に委任することになる。

問 基本設計は重要構造物デザイン会議で確認

答 示された建物の外観イメージのパス図が景観条例に適合していないが、

答 まちづくり推進課長 これから作る基本設計段階から「重要構造物デザイン会議」に適合したものにしていこう。その後には町民にワークショップなどで意見を求めながら進めていく。

問 建設予定地は用地取得だけでなく、土地のリース契約も含まれているが、また既存建物の移転や解体などで令和4年3月の完成予定が遅れることはないか。

答 まちづくり推進課長 用地については地権者の希望により一部リースとなった。年間150万円余りの単価についても合意を得ている。工期については令和4年3月31日の引き渡しは絶対に譲れない期限である。

令和2年度から 会計年度任用職員制度が スタート!

臨時職員は どのように変わるの？

町で働く非常勤職員・臨時職員の制度が令和2年4月から変更になります。
新しい制度における名称は「会計年度任用職員」となります。フルタイム会計年度任用職員、パートタイム会計年度任用職員に区分され、任期のある非常勤の公務員となります。

会計年度任用職員制度の質疑

問 行政区長の身分が変わるの？

答 行政区長は今までは非常勤特別職であったが、新たな制度では業務委託、私人委託となるのか。

答 総務課長 行政区長個人と委託契約を締結することになる。

問 行政区長が特別職から除外されたことに伴い、今まで担ってきた業務に変更が生じることがあるのか。区長のなり手不足の問題もあり、個人の委託契約となると意識、モラルの低下につながるのでは。

答 総務課長 今まで通り業務内容に変更はない。委託業務となるので業務内容を委託契約書の中に盛り込むことになる。今後も行政と町民の重要な

令和元年度各会計補正予算

会計区分	補正額	補正後予算額
一般会計	7339万円	54億1975万円
特別会計		
国民健康保険	14万円	8億3117万円
下水道事業	51万円	3億4万円
農業集落排水事業	667万円	8389万円
水道事業会計(収益的経費)	219万円	2億7746万円
(資本的経費)	665万円	3億5613万円

※単位未満を四捨五入しています。

補正予算

問 下水道事業は、30年を投入して進めている。下水道への接続の年限があるはずだがその対策は。

答 建設水道課長 工事終了地区は水洗化の接続を3年以内としているが、経済的な理由、高齢の単身者といった事情で進まない実情がある。水洗化率は、80%に達しているため、今後

フルタイム
常勤職員と勤務時間が同じ
[給料] + [期末手当] + [退職手当その他]
(条例による)

パートタイム
常勤職員より勤務時間が短い
[報酬] + [期末手当] など
(勤務条件による)

※勤務条件にもよるが、現在の非常勤職員・臨時職員と比べて勤務条件が改善される。

議案内容と審議結果

議会定例会 12月会議 (12月5日～12日)

議案番号	議案及び内容
条例の制定、一部改正	
第54号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 (法律施行に伴う条例の整備)
第55号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 (法律の一部改正に伴うもの)
第56号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 (令和2年4月から会計年度任用職員制度が導入されることから条例の整備を行うもの)
第57号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正 (給料改定0.1%引き上げ、勤勉手当0.05月引き上げ、住居手当改正)
第58号	下水道事業の設置等に関する条例 (公共下水道事業、農業集落排水事業の地方公営企業法の一部を適用による条例制定)
第59号	(仮称) 平泉町社会教育施設設置条例 (施設の整備に伴う条例制定)
第60号	平泉町公民館設置条例の全部改正 ((仮称) 平泉町社会教育施設設置に伴う条例改正)
第61号	平泉町立図書館設置条例の全部改正 ((仮称) 平泉町社会教育施設設置に伴う条例改正)
契約、その他	
第69号	社会教育施設整備事業施設整備契約の締結 (関連記事はP4に記載)
第70号	(仮称) 社会教育施設の指定管理者の指定 (関連記事はP4に記載)
第62号	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議 (盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合の解散に伴うもの)
第63号	岩手県市町村総合事務組合の財産処分の協議 (盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合の解散に伴うもの)

議会定例会 11月会議 (11月15日)

議案番号	議案及び内容
財産の取得	
第53号	財産の取得 (高田前工業団地(第2次造成地)整備事業用地取得)

議案番号	議案及び内容
令和元年度補正予算	
第64号	一般会計補正予算(第5号) (災害復旧費5267万3千円、社会教育施設整備に係る調査測量726万円や人件費1150万円の追加により総額54億1975万円とする)
第65号	国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (国保システムの改修費用の追加などにより14万円増額し、8億3116万6千円とする)
第66号	下水道事業特別会計補正予算(第2号) (受益者負担金管理システム経費の18万7千円増額、起債利子減額などにより、総額を3億4万2千円とする)
第67号	農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) (予備費の増額などにより総額を8389万4千円とする)
第68号	水道事業会計補正予算(第2号) (漏水修繕300万円、配水管整備費等の工事費661万7千円の増によるもの)
発議	
発議第3号	私学助成の充実を求める意見書の提出 (関連記事はP6に記載)
請願	
請願第3号	私学教育を充実・発展させるための請願 (関連記事はP6に記載)
常任委員会の継続調査	
-	総務教民常任委員会の閉会中の継続調査 (調査項目: 魅力ある子育て支援)
-	産業建設常任委員会の閉会中の継続調査 (調査項目: ①社会基盤整備 ②農業振興策 ③観光振興策)

議会定例会 1月会議 (令和2年1月7日)

議案番号	議案及び内容
会期の決定	
-	会期の決定 (会期を令和2年1月7日～3月30日までの84日)

議案	賛否のあった議題 (賛成:○、反対×)											採決結果		
	議員名	水室裕史	高橋拓生	阿部圭二	三枚山光裕	真竈光幸	高橋伸二	升沢博子	佐々木一治	佐々木雄一	千葉勝男		寺崎敏子	佐藤孝悟
発議第3号 私学助成の充実を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	10対1	可決
請願第3号 私学教育を充実・発展させるための請願	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	10対1	採択

※佐藤孝悟議員は、議長のため採決に加わっていません。
※その他の議案は全員賛成で可決されました。

令和元年
定例会
11月
会議

進む! 工業団地整備

定例会11月会議が11月15日に開催され、高田前工業団地(第2次造成地)整備事業に係る財産の取得が決定しました。

- 財産の取得 (全員賛成)
用地 1,7424.36㎡を
2,822万7,460円で買入れ

提出者
升沢博子
賛成者
寺崎敏子・真竈光幸
三枚山光裕・水室裕史
内容
請願を受けて、同内容の意見書を国等に提出。

●私学教育を充実・発展させるための意見書 (賛成多数で可決)
内容
教育条件の維持向上と保護者の経済的負担の軽減を図り、教育内容の充実と私立学校の経営の健全性を求めるためのもの。

請願者
私学助成を進める若手の会
紹介議員
三枚山光裕・高橋伸二
佐々木一治・阿部圭二
内容
教育条件の維持向上と保護者の経済的負担の軽減を図り、教育内容の充実と私立学校の経営の健全性を求めるためのもの。

●私学教育を充実・発展させるための請願 (賛成多数で採択)
請願者
私学助成を進める若手の会
紹介議員
三枚山光裕・高橋伸二
佐々木一治・阿部圭二
内容
教育条件の維持向上と保護者の経済的負担の軽減を図り、教育内容の充実と私立学校の経営の健全性を求めるためのもの。

12月会議で審査した請願、意見書の審議の結果を報告します。

研修報告

議員が参加した研修を報告します。

県町村議会議長会 議会広報研修会

11/21～22開催
「議会だより」が読まれ、伝わる」
住民の関心高め、参加促進情報共有を
講師・議会広報サポーター
吉野 政明氏

議会だよりに対する講評
・見出しに工夫を
・議会として町の重要課題の掘り下げや、住民からの課題を取り上げるなどの「特集」を組むようにしても良いのでは。

紫波町議会との交流会

10/18開催
かわらけとお酒
「お酒が繋ぐ紫波町と平泉町」
講師・まちづくり推進課長
「その一冬のために」
奥州市議会、一関市議会、平泉町議員研修会
講師・東山和紙職人
鈴木 英一氏

町政調査会研修

10/29開催
●少子定住化対策
●「地方議会の機能強化」
11/8開催
「質問力の向上と請願審査の充実を目指して」

岩手県監査委員協議会

11/27～28開催
●小規模な自治体に対応した監査・内部統制のあり方」など
講師・県町村議会議長会
米田 武美 参与
●議会の災害対応
1/16～17開催
視察先・陸前高田市議会
・災害対応指針
・行動マニュアル
・行政との連携
●震災復興状況調査
・道の駅「高田松原」
・津波伝承館

全国監査委員協議会 研修

10/31～11/1開催
●「監査基準の策定とその活用」など



佐々木雄一 議選監査委員



高橋 伸二 議員

町長 入館料や食堂
売り上げの増収
対策、キャンペーンの在
り方の見直し等により入
館者が増えているもの
の、今後の設備機器の更
新費用捻出などが喫緊の
課題であり、コンサルタ
ント委託を含めて経営改

町民福祉課長 温泉施設の
管理運営に必
要な予算は、一般会計か
らの繰り入れで確保する
事を考えている。

町民福祉課長 敬老特別優
待入浴券に見
合う光熱費や入湯税に見
合う金額の補完について
は、今後検討したい。

問 3月会議質疑以
降、「悠久の湯」
の経営改善計画策定と当
面している諸課題への対
応は。

問 「入湯税」を温
泉設備の修繕費用
にも充当すべきと指摘し
たが検討されたか。

町民福祉課長 温泉施設を
運営する民間
施設もあり、それを含め
た検討や対応は可能と考
えているが、悠久の湯に
ついては繰入予算で対応
したい。

A 改善計画の策定、コンサル委託を進める

Q 「悠久の湯」の経営改善に向けた取り組みは

善計画の策定を進める。

会計からの繰り出し額を
抑制することが必要では
ないか。

**A 命を守る避難行動に
熟度を重ね対応する**

**Q 子どもたちの命を守る
「事前防災体制」は**

町の事前防災体制づく
りをいかに進めるか。

町長 判決は、私自
身が頭を殴られ
た思いで受け止めている。
当局には津波は無いが
台風被害などがある。子
どもの命を守る避難行動
を再認識し、教育委員会
はもとより町全体として
熟度を重ねながら対応し
ていきたい。

問 本年10月10日、
最高裁は74名の
犠牲者を出した石巻市
「大川小学校」津波犠牲
訴訟の判決を出した。
判決では、①行政と学
校が危機管理マニュアル
整備を怠った、②教育委
員会も不備
を是正しな
かった、③
事前の防災
の不備が犠
牲を招いた
として、「組
織的過失」
を認定し
た。

教育長 教育行政の責
任、学校防災の
在り方、危機管理の問題
が問われていると強く感
じている。
具体的な内容はまた協
議していないが、学校版
*タイムラインを含め、
アクションを起こさなけ
ればならない。子どもた
ちに命の大切さを刷り込
むことも今後の課題と考
えている。

町民福祉課長 敬老特別優
待入浴券に見
合う光熱費や入湯税に見
合う金額の補完について
は、今後検討したい。

この判決
は、子ども
の命を優先
すべき学校
防災の在り
方に警鐘を
鳴らしたも
のである。



石巻市立大川小学校
宮城・石巻市 2011年

津波で児童ら74人が犠牲となった大川小学校
(ニュースevery (2014・3・10) より)

12月会議は、過去の質疑における当局答弁
後の対応を「追跡質問」。
「検討する」とした事柄が、今回も繰り返さ
れる「検討」との答弁。
政策に対する政治責任が問われている。

議員の
ひとりごと



ここが聞きたい!

一般質問で町の考えを問う

一般質問とは、議員が執行機関である町長などに対し、事業の状況や
将来の方針などの諸問題について問いたすものです。
平泉町では一人60分以内の制限時間で質問を行います。

●高橋 伸二 議員…P 9

① 一般質問及び特別委員会における「質疑・答弁」に対する追跡質問

●三枚山光裕 議員…P 10

① 国民健康保険税の引き下げ
② 焼却ごみの減量とリサイクル強化
③ マイ・タイムラインの普及

●阿部 圭二 議員…P 11

① 住宅リフォーム事業に代わる「住宅、店舗リノベーション事業」の新設
② 防災マップ
③ 「平泉町きれいなまちづくり条例」の見直し

●升沢 博子 議員…P 12

① 地域防災計画の要配慮者安全確保計画と台風19号の災害対応
② 社会福祉協議会運営への支援

●真筆 光幸 議員…P 13

① 文化財保護
② いじめ問題

●佐々木一治 議員…P 14

① 道路行政

●高橋 拓生 議員…P 15

① 産業振興政策
② 公共施設整備

●氷室 裕史 議員…P 16

① 平泉町の地域公共交通のあり方
② 消防団協力事業所制度の推進

●佐々木雄一 議員…P 17

① 組織改革
② スマートインターチェンジ周辺事業の進捗状況

令和2年議会 定例会3月会議のお知らせ

3月5日(木)～16日(月) 開催予定

議会はどなたでも傍聴できます。

※本会議は
インターネットで
生中継しています。



※ 上記のQRコードを携帯のカメラで読み取ると平泉町の議会中継をホームページ上で見ることができます。

Q 基金、繰越金で国保税の引き下げを

A 推移を把握しながら検討



三枚山光裕 議員

ろうという話だが、逆に5年後に基金が枯渇して引き上げとなると、様々な意見が出てくると思われる。

問

把握しながら検討する。

問 国保会計は、基金と繰越金で1億6000万円余となっている。これほどの基金の積み立ては必要なく、国保税の引き下げが必要である。考えを伺う。

問

国保税を仮に1世帯平均2万円下げると、2250万円減額される。保険収入が減り、県の納付金が増えると考えると3000万円くらい必要である。今後5年間で1億5000万円だ。財政上やりくりができるのでは。

町長 令和2年度の国保事業納付金が県から示され増額となった。国保税額も減少が予想される。国保会計の安定の観点から国保事業納付金や国保税額の推移を

町民福祉課長 確かに5年間はもつた

町民福祉課長 被保険者の



地域医療を支える県立磐井病院

声を聞きながら、引き続き検討したい。

問

予算編成の時期だ。町長の決断も必要だろう。本当に検討しているのかも問われている。もっと前向きな答弁を。

町長

下げないと話しているわけではない。引き下げについては、ぜひ検討していきたい。

Q 焼却ごみの減量とリサイクル強化を

A 努力していきたい

ごみ減量は進んでいるか。リサイクルの強化も必要で、地球温暖化の観点からも急ぐべきだ。



焼却ごみの40%は生ゴミコンポストの活用が大切です

大事なのは、積極的な減量計画をつくること。具体的な行動である。先進地に学ぶべきだが、町の考えは。

町長

ごみ排出量は減少傾向である。1人1日当たりの排出量はほぼ横ばいと予想される。リサイクル率は平成25年度から横ばい状態である。先進地の例は、広域行政組合の副管理者であり、熟知している部分もある。分別により、ごみの減量化は具体的に図られるものだと思う。各地域の協力をもとに、町としても努力していきたい。

その他の質問

Q ※マイ・タイムラインの普及は。学習会を開催し、普及・啓発に取り組む。

A

ごみ減量の質問で、グレッタ・トゥンベリさんの「裏切ったら絶対に許さない」との国連での発言を引用した。「英語で喋ったらカッコよかったなあ」と思ったが、日本語さえおぼつかない。

議員のひとりごと

理解する学習が必要ではないか。

総務課長 家族単位で居住地の危険性を熟知しながら避難等に活用してほしい。行政区ごとの説明会を今後検討していきたい。

Q その他の質問
きれいなまちづくり条例の周知が必要では。

A 広報や町のホームページで周知を図る。

Q 住宅支援事業の新設の考えは

A 様々な効果の事業を検討中

問 一昨年12月会議で、住宅リフォーム事業にかわる住宅、店舗リノベーション事業の新設に係る請願が採択された。来年度に新設されるのか。

町長

生活再建住宅支援事業の事業実施期間が令和2年度までとなっている。平成24年度からの事業実績は交付件数186件、今年度は9件である。新たな事業は生活再建

住宅支援事業が完了後、適正時期に検討する。

問

新たな住宅支援事業の内容は。建設水道 政策的な内容に検討を進めている。

問

生活再建事業の申請が9件に減ったこの時期に住宅リフォーム事業をプラスする必要があるので。

Q 防災マップの見直しが必要では

A 過去の豪雨の状況により検討する

問 浸水した坂下地区の町道坂下線は防災マップでは浸水地域となっていないが、防災マップの見直しが必要ではないか。

町長

防災マップは支川の反乱や内水は過去支川の反乱や内水は過去



防災マップにないのに冠水(坂下線)

の豪雨の状況により検討する。

豪雨では自主防災会などを中心に防災への意識の醸成に努める。

問

浸水した場所の排水の手順、ただではどうなっているのか。

町長

今回浸水した場所は強制排水ポンプが整備されている場所ではない。大規模な浸水の場合は排水ポンプを要請するなど関係機関

問

10月の台風で坂下線の冠水時にごよんな対策をとったのか。またその認識は。

建設水道課長 町道坂下線の冠水を確認して通行止めを行った。増水、台風、大雨の時は度々冠水していた。

問

自主防災会を通じて防災マップを

空き缶のポイ捨てについての質問をしました。自販機が問題かもしれない。電線の地中化とともに何処でも昔の町並みの撮影が出来る平泉を目指したい。

議員のひとりごと

※マイ・タイムライン…風水害の発生にそなえて一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせてあらかじめ作成する自分自身の避難計画。

Q 災害弱者の安全確保は十分か

A 支援関係者で連携を図る



升沢 博子 議員

簿情報を所持し今回の台風接近時には安全の確保をおこなった。今後は名簿情報の提供者を広げて、災害発生に備えて普段からの見守り体制を整える必要があるのではないか。

問 台風19号の接近による当町への大きな被害はなかったが、高齢者などの要支援者名簿の整備はどこまで進んでいるか。

町長 平成29年に要支援者の名簿を整備し、名簿の登載者は令和元年6月時点で250名、平常時にも支援者に名簿情報の提供を承諾した方は137名である。

町民福祉課長 現在の提供先は区長、民生委員が中心となり、そこに自主防災組織が加わり普段から地域ごとに話し合いをもって情報を共有し、見守り体制を作ることが重要であると考えている。

問 今回の台風接近に伴い、各地区の自主防災組織がそれぞれ安全確保に動いた。各組織間の温度差もあり、今後は共通した自主防災組織行動マニュアルの作成

が必要ではないか。
総務課長 年に1度の総会は開催している。災害発生時の対応をマニュアル化することも検討課題である。

Q 社会福祉協議会への支援は適正な活動補助を行っている

問 交通弱者に対する公共交通の対応を社協に委託している自治体もある。当町でも社協に委託することはできないか。

まちづくり推進課長 現在の社協には担える体力はまたないと考える。社協には福祉行政を

有をしながら町の福祉政策についても、協議をしていく。

担える団体になってもらえればと考える。

過去に福祉センターができる、という話もありました。今だからこそ、元気高齢者の活動拠点が欲しいです。

議員のひとりごと



月に一度の社協事業「ほほえみカフェ」は憩いの場となっています

Q 文化財を守る消火設備の点検は

A 問題無いことを確認

問 首里城火災焼失を踏まえ、本町の国宝・重文の文化財を守る消火設備の老朽化対策や設置状況の点検は十分か。

教育長 文化財の所有者に火気管理の徹底と防火体制の再確認を注意するよう求めた。また、防火施設調査を行い、問題が無いことを確認したが、老朽化が進んでいる設備もあった。

問 防火設備設置後の年数はどうか。

文化遺産センター所長 個々の文化財についての消火設備の設置年数は把握していない。

問 老朽化している設備の改修費用や新設機材の費用は、町として補助を増額するとう理解でいいか。

文化遺産センター所長 具体的には承知していませんが、文化財指定の段階で設計等の調査を行い資料としてあるものと思う。



真筈 光幸 議員

問 万が一の焼失に備えて建物の設計図や所有する美術工芸品の写真などを電子データで保存すべきと考えるが取り組んでいるか。

文化遺産センター所長 国宝・重文の防火設備の改修は国庫補助や県の補助がある。所有者の経費負担能力を考慮して判断していくことになる。

Q 町内の社寺建築等の保護をどう進める

問 文化財指定に向けた調査を行う

問 近世社寺建築、江戸時代中期以降に建立された神社仏閣の調査と価値付けがなされていない。建造物と所有する美術工芸品の保護措置の取組みについてはどうか。

町長 指摘のとおり調査と価値付けが弱い状況である。未指定の建造物の文化財指定に向けた調査を、今年中に行うこととした。また、今後も継続的に調査を実施したい。

問 未調査の建造物は老朽化が著しく早急な保全修理が必要であり、その価値を損なわないため



八雲神社本殿 保存措置の急がれる近世社寺建築

にも専門家による調査が急がれている。今後継続して行う調査には美術工芸品も対象とするのか。

問 長島地区小島神社、八雲神社での還幸祭における献饌行列や、八雲神社での獅子舞など貴重な民俗・風俗習慣がある。建造物を取り囲む、地域全体の価値や魅力を、地域がしっかり共有している事が大事である。

Q いじめに対する法律等の学校教育の必要性は。

A 世の中のニーズ等から法律や考え方の学びを進める。

歴史景観地区としての見直しは。

建設水道課長 は、歴史景観地区指定をしていないが、今後文化財指定になれば検討される。

社寺建築は伝統的な建築の中で、最も高度で複雑な技術を必要とする建築であり、我が国の誇る木造建築物の中核です。永く後世に伝える為にも、防災や保全費用の所有者負担を軽減する町費助成が保護措置として必要です。

議員のひとりごと

Q 道路行政の現状は

A 道路をパトロールし現場確認する



佐々木一治 議員

Q 髭石付近の県道改良を要望する

A 今のところ予定はない

問 県道平泉蔵美深線の髭石付近の

問 矢崎地内の県道と沿岸線の交差点は、町道の幅も狭く交差できない。停止線も交差に近く危ない。元バス停ボックスがあり、非常に危険である。見解を伺う。

町長 今年5月に警察署、行政区域長、町と立ち合いで現場を確認した。ボックスボックスを撤去するとなれば、設置者が行うことになる。



矢崎地区の元バス停ボックス

カーブが日陰であり、事故が多い。石が倒れば大惨事につながる。県に改良を要望すべきと考えられている見解を伺う。

町長 平成23年の地震後、石が倒れる恐れがあり、石の隙間に間詰処理の経緯がある。必要に応じ県に対応をお願いする。

Q 町道の現状を把握しているか

A 連絡があれば現地を調査する

問 長年整備していない町道・林道などは通行ができない。町道には木の枝が被り、通行に危険である。現地を



改良が望まれる県道平泉蔵美深線髭石付近

どう把握しているか伺う。

町長 道路パトロールを行っている。町道の総延長25.2キロメートルで、充分に管理が行き届いていない。利用者から連絡があれば支障木除去を実施する。

道路は命を運ぶ。安全運転が基本だが、道路の作りにより、事故が多い場所は同じ場所である。全国的に道路環境が問われている。命にかかわる道路、現況を見て改良してほしい。

議員のひとりごと

Q 道路整備計画には連続性を

A 多額な事業費のため開発計画時に検討

問 スマートインターチェンジ開通後想定される高田前渋滞解消のため信号機、右折レーンが必要と考えるが。

まちづくり推進課長 警察での判断もあるが、町でも交通量を見ながら検討していく。

町長 学習活動の一環で要望いただき重要要望として認識している。史跡を公園として活用を関係機関と検討している状況である。

問 今年度の通学路合同点検の結果、その修繕整備対策は。

町長 県道相川平泉線旧JA長島支所から長島保育所の歩道、長島小付近の側溝、一関北上線野田地内の歩道、県道一関平泉線川屋敷バス停付近の4カ所点検を行った。県に対し道路改良要望を行っている。



川屋敷バス停付近のスピード抑制ライン

川屋敷バス停の丁字路交差点は8月にラインを設置し、スピードを抑制させる処置をした。

問 一関警察署から町内に防犯カメラ設置要望があったが対応策は。

町長 当町には、国内外から多くの観光客が来ている。住民、観光客の安全のため、新年度設置に向け検討を行っている。

Q 台風の影響で観光客の入込数は

A 台風の影響で2割減少

問 平泉・一関DMO組織のこれまでの成果は。

町長 一関市と平成30年DMO設立時から支援し、平成31年3月にはDMO法人とし

て登録された。組織体制基盤整備、閑散期対策事業等実施し、平泉・一関エリアが東北有数の観光地として確立し、事業を実施してきた。

問 観光誘致策、平泉型の体験学習等様々な取り組みをして経済効果がある。昨年度よりDMOに対し、財政支援をしている費用対効果は。

観光商工課長 DMO事業は、ブランドデザイン会議において検討しており、町の観光施策、地域の発展が一体的に出来るよう方向性を模索していきたい。

問 第2回オープンファクトリー五感市来場者が昨年度の2倍の約4000人になった。今後の支援は。

観光商工課長 五感市は新しい形の地域連携の取り組みで、財政的な支援だけでなく、

平成30年策定の観光振興計画の掲げる、農業と観光をタイアップした体験メニュー、滞在型観光が新しい平泉の取り組み事業である。

議員のひとりごと



高橋拓生 議員

Q 地域公共交通問題の今後は

A 各地域に適した対策を



水室裕史 議員

でもらう前提で考え、可能な限りバスを乗りやすいものにしていく工夫が必要と考えている。バスの細かな普及啓発に関しては、時間をかけずに対

まちづくり 導入に関するコストは、予約システムが必要になるが、既に一関市の一部でそのシステムを作っているため、費用はあまりかからないと思われる。しかし、現実にと

ド型交通には乗り合い型のももあり、平泉町の周辺にある公共事業の民間会社と実現性について模索していく必要がある。

の企業広告無料掲載など、様々なメリットが存在する。今後の企業誘致にあわせ、消防団協力事業所にメリットを持たせ、新規企業からの団員確保につなげてはどうか。

問 当町における交通空白地帯はどのあたりか。また、その地域への対応策は。

まちづくり 推進課長 長島の山間部と7区、8区の一部地域に存在することを確認している。

まちづくり 推進課長 現実問題として赤字路線が多く、バス事業者からは仮に地域の方々が不要であれば撤退もありえるとの話もある。しかし、高齢化社会を見据え、バス事業者には存続をし

ことで検討している。

まちづくり 推進課長 導入に必要なのは何か。

まちづくり 推進課長 事業所の地域貢献の一つとして理解と協力をもたらっており、現在のところ特に設けられてはいない。各自自治体の事例を参考にしながら、事業所がこの制度に理解を示し、本制度が推進されるよう内容について検討していく。

まちづくり 推進課長 県外を含め、様々な自治体の方策を検討しながら、その中で有用なものを参考にしていきたい。

問 第2回平泉町地域公共交通会議で既存路線を残す対策はどのように論じられたか。

まちづくり 推進課長 現実問題として赤字路線が多く、バス事業者からは仮に地域の方々が不要であれば撤退もありえるとの話もある。しかし、高齢化社会を見据え、バス事業者には存続をし



町内全域に行きわたる公共交通を

ただけの方が利用するかは不明確である。市民の利便性を上げる意味ではデマンド導入にメリットはあるが、それらを利用する方がどれだけあるかというところが、システムの存続を考えると課題となる。デマン

問 他自治体では消防団協力事業所に対し法人事業税、個人事業税の減免、広報誌へ

企業誘致に付随する形で移住してきた方が消防団に加入することは地域にいち早くなじむための最適解です。それを後押しできる企業であってもらうためにも、消防団協力事業所へのメリットを！

※交通空白地帯…平泉町では定期的なバス等が行かない地域を指している。

Q 制度改革の時期に組織の見直しは

A 組織再編の検討を進める

問 働き方改革、会計年度任用職員制度、大型事業の一区切り、管理者の大量退職等があり、この時期に組織機構を見直しは。

町長 働き方改革を本格化し、会計年度任用職員制度が開始される令和2年度においては、平泉町総合計画の見直しに加え、行政改革大綱、行政改革プラン、定員管理計画などの改定

時期が重なっている。公共施設への指定管理者制度の導入や各種計画との整合性を図り、組織再編の具体的な検討を進める。

問 課題としてはどのようなものがあるか。

町長 持続可能なまちづくりを見据えた総合計画の進行管理の人的体制や、政策の総合調整機能を強化すること。

町長 現在のシステムでの体制は、担当部署ごとで行っており、専任職員の配置は現段階で考えていない。

町長 情報処理能力が今後さらに求められるが、専任職員の再考はないか。

町長 現在のシステムでの体制は、担当部署ごとで行っており、専任職員の配置は現段階で考えていない。

町長 働き方改革を本格化し、会計年度任用職員制度が開始される令和2年度においては、平泉町総合計画の見直しに加え、行政改革大綱、行政改革プラン、定員管理計画などの改定

町長 持続可能なまちづくりを見据えた総合計画の進行管理の人的体制や、政策の総合調整機能を強化すること。

町長 情報セキュリティ確保や安全なアクセス、機密保持確保のため、専門研修と体制整備に努める。

町長 周辺事業の進捗状況は。月2 10日に平泉スマートインターチェンジ周辺事業戦略協議会を立ち上げた。

町長 協議会には、開発、金融機関など11社が集まり、基本構想、整備スケジュール等確認している。

町長 通常道路使用許可申請書ということがある。

町長 通常道路使用許可申請書ということがある。



佐々木雄一 議員

問 職員の衛生管理は。

町長 総務課と各管理職が連携し

町長 協議会には、開発、金融機関など11社が集まり、基本構想、整備スケジュール等確認している。

町長 通常道路使用許可申請書ということがある。



東北自動車道 ETC専用 平泉スマートインターチェンジ工事

町長 協議会には、開発、金融機関など11社が集まり、基本構想、整備スケジュール等確認している。

町長 通常道路使用許可申請書ということがある。

町長 通常道路使用許可申請書ということがある。

町長 通常道路使用許可申請書ということがある。

町長 通常道路使用許可申請書ということがある。

議員のひとりごと